

# 都市再生整備計画(直江津地区)

## 評価委員会説明資料

令和2年2月25日

上越市 企画政策課

# 目次

- 1 都市再生整備計画及び事後評価制度の概要説明
  - (1) 都市再生整備計画について
  - (2) 事後評価制度について
  - (3) 事後評価のスケジュールについて
- 2 直江津地区の計画概要
  - (1) まちづくりの目標
  - (2) 計画の概要
- 3 直江津地区の事業概要
  - (1) 基幹事業（都市再生整備計画）
  - (2) 関連事業（効果促進事業：社会資本総合整備計画）
- 4 審議事項
  - (1) 数値目標の達成状況と効果発現要因
    - ① 上越市立水族博物館入館者数
    - ② 中心市街地の歩行者数
    - ③ 計画区域に居住する若年人口
  - (2) 実施過程の評価
  - (3) 今後のまちづくり方策の作成
    - ① まちの課題の変化
    - ② 効果を持続させるために行う方策
    - ③ 改善策
  - (4) フォローアップ計画
  - (5) 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
  - (6) 事後評価原案の公表

# 1 都市再生整備計画及び 事後評価制度の概要説明

# 1-(1) 都市再生整備計画について①

## ○目的

都市再生整備計画(事業)は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とする。

## ○位置付け

都市再生整備計画事業は、社会資本整備総合交付金の基幹事業の1つに位置付けられる。

### <社会資本総合整備計画>

#### <基幹事業>

- 道路 ○公園
- 下水道 ○都市再生整備計画
- 住環境等

#### <効果促進事業>

基幹事業と一体となってその効果を一層高めるために必要な事業等

#### <関連社会資本整備事業>

社会資本整備重点計画法第2条第2項第1～13号に掲げる事業又は公的賃貸住宅の整備に関する事業

※直江津地区は該当なし

## ○制度の拡充（都市再構築戦略事業） ※直江津地区は、当事業を活用

立地適正化計画を作成し持続可能な集約型都市構造への再構築を目指す市町村に対し、平成26年度に都市再生整備計画事業の制度内容を拡充した「都市再構築戦略事業」（人口密度維持タイプ及び高齢社会対応タイプ）が創設された。

### <都市再生整備計画事業>

- 道路 ○公園
- 下水道 ○高次都市施設
- 
- 土地区画整理等

補助率 40%



### <都市再構築戦略事業>

- 道路 ○公園
- 下水道 ○高次都市施設
- 中心拠点誘導施設
- 土地区画整理等

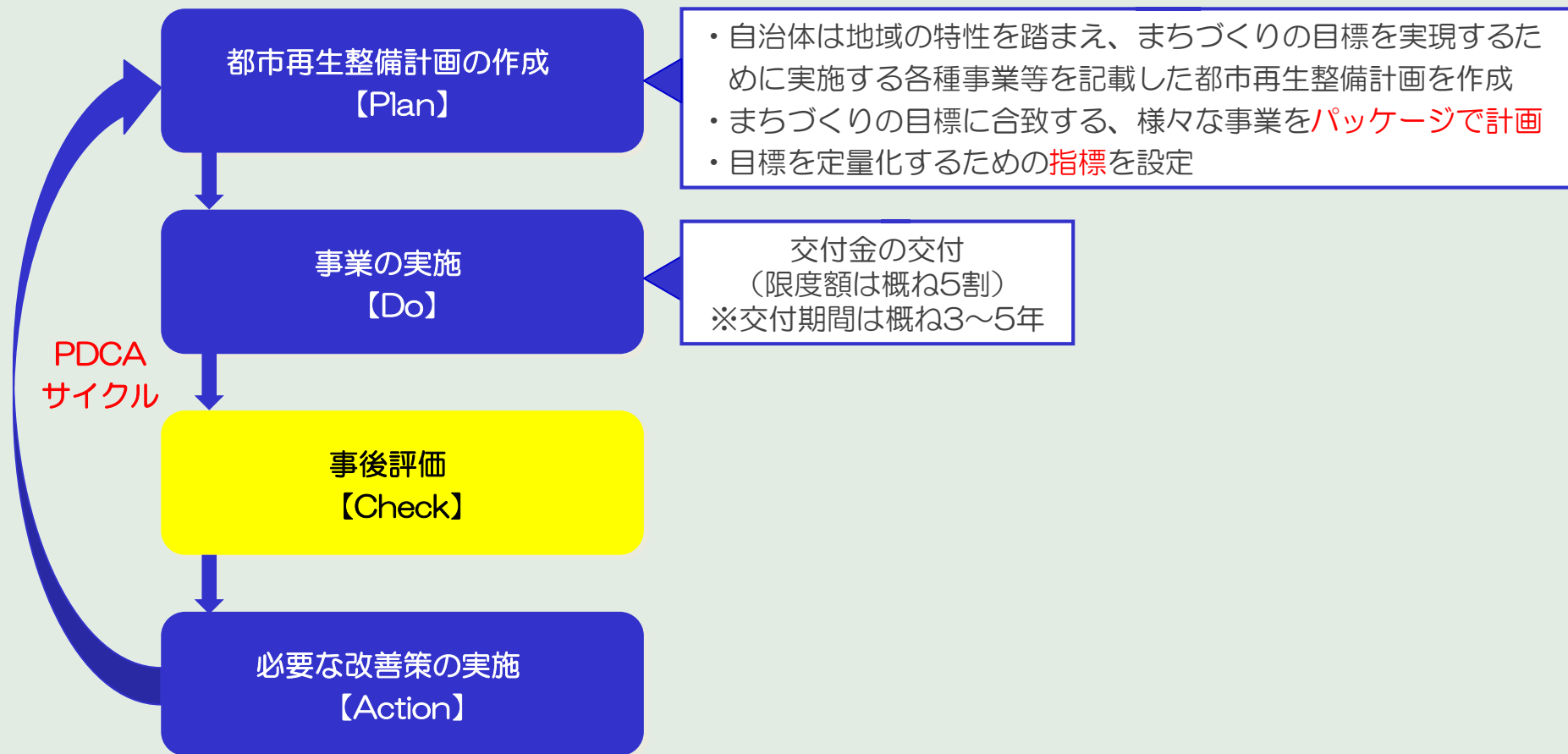
補助率 50%

◎従来の基幹事業に加え、医療・福祉・教育文化など将来にわたり持続可能な都市とするために必要な施設（中心拠点誘導施設）整備が可能

◎補助率40% → 50%に嵩上げ

# 1-(1) 都市再生整備計画について②

## ○実施フロー



# 1-(2) 事後評価制度について

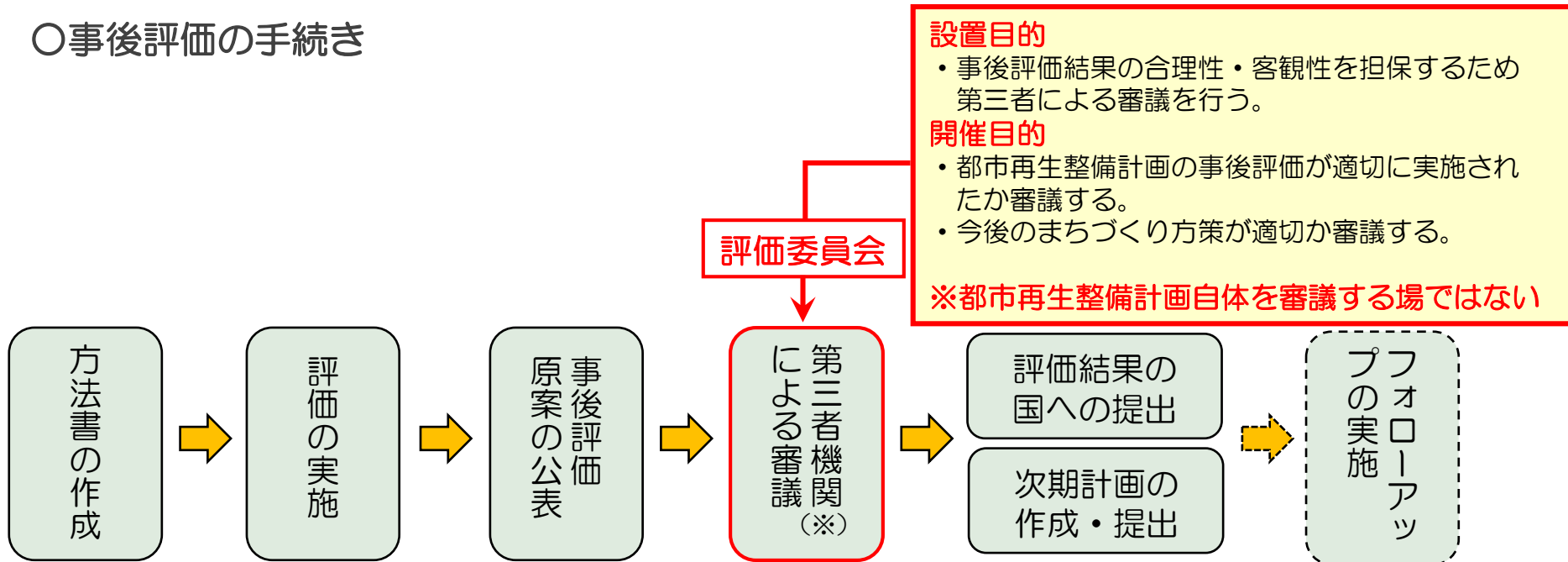
## ○事後評価の目的

事業の成果を住民にわかりやすく説明し、交付金がもたらした成果等を客観的に診断して今後のまちづくりを適切な方向に導くことを目的とする。

## ○事後評価の内容

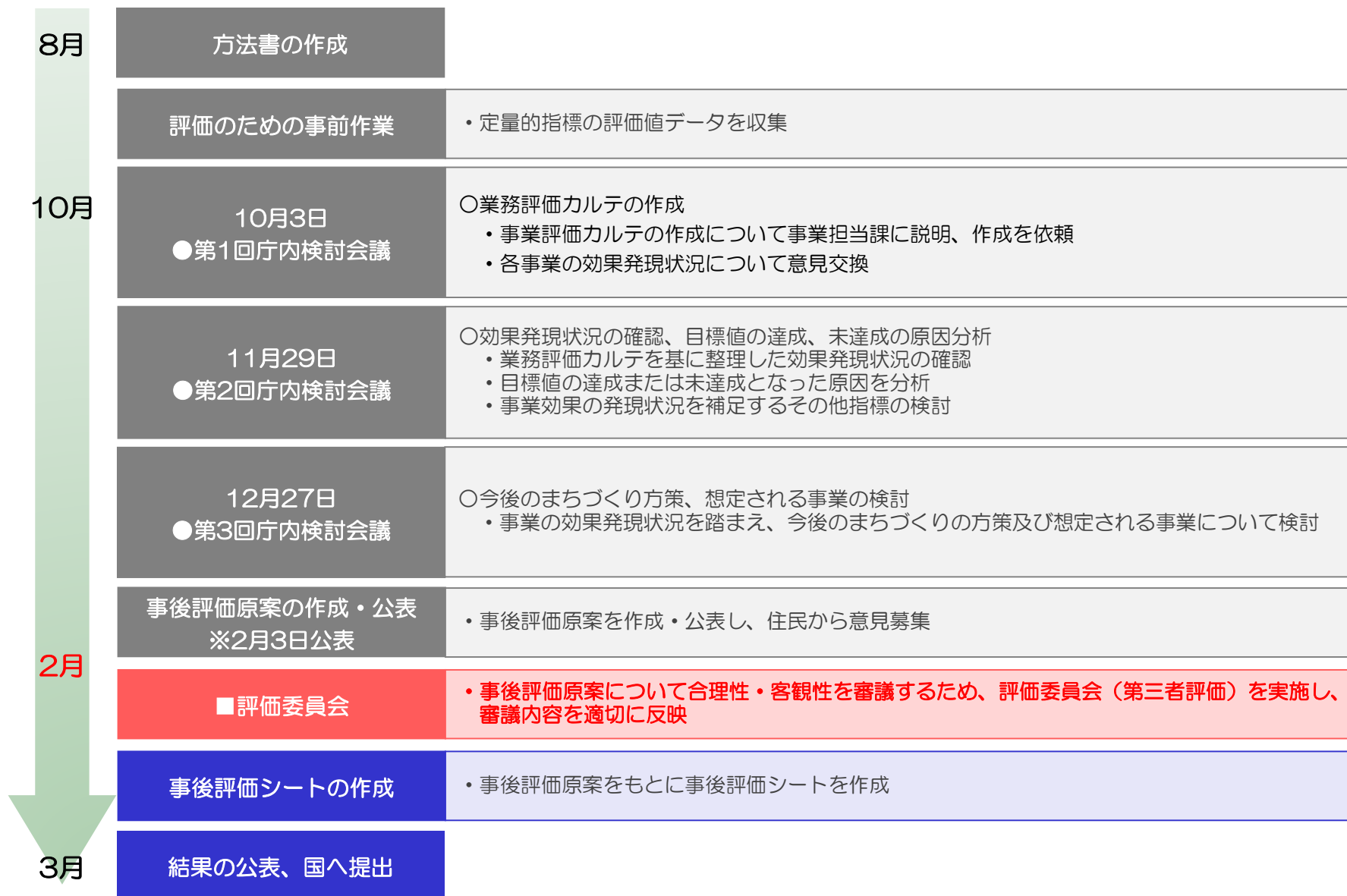
- 方法書の作成 → 事後評価の円滑な実施のため、「方法書」を作成
- 事業の成果及び効果発現要因の整理 → 数値目標の達成度等について整理
- 今後のまちづくり方策の検討 → 今後のまちづくり方策、目標を達成するための改善措置を作成

## ○事後評価の手続き



(※) 第三者機関・・・上越都市再生整備計画評価委員会設置要綱に基づき、学識経験のある有識者等、市長が委嘱した委員により構成する組織

# 1-(3) 事後評価手続き(スケジュール)について



## 2 直江津地区の計画概要



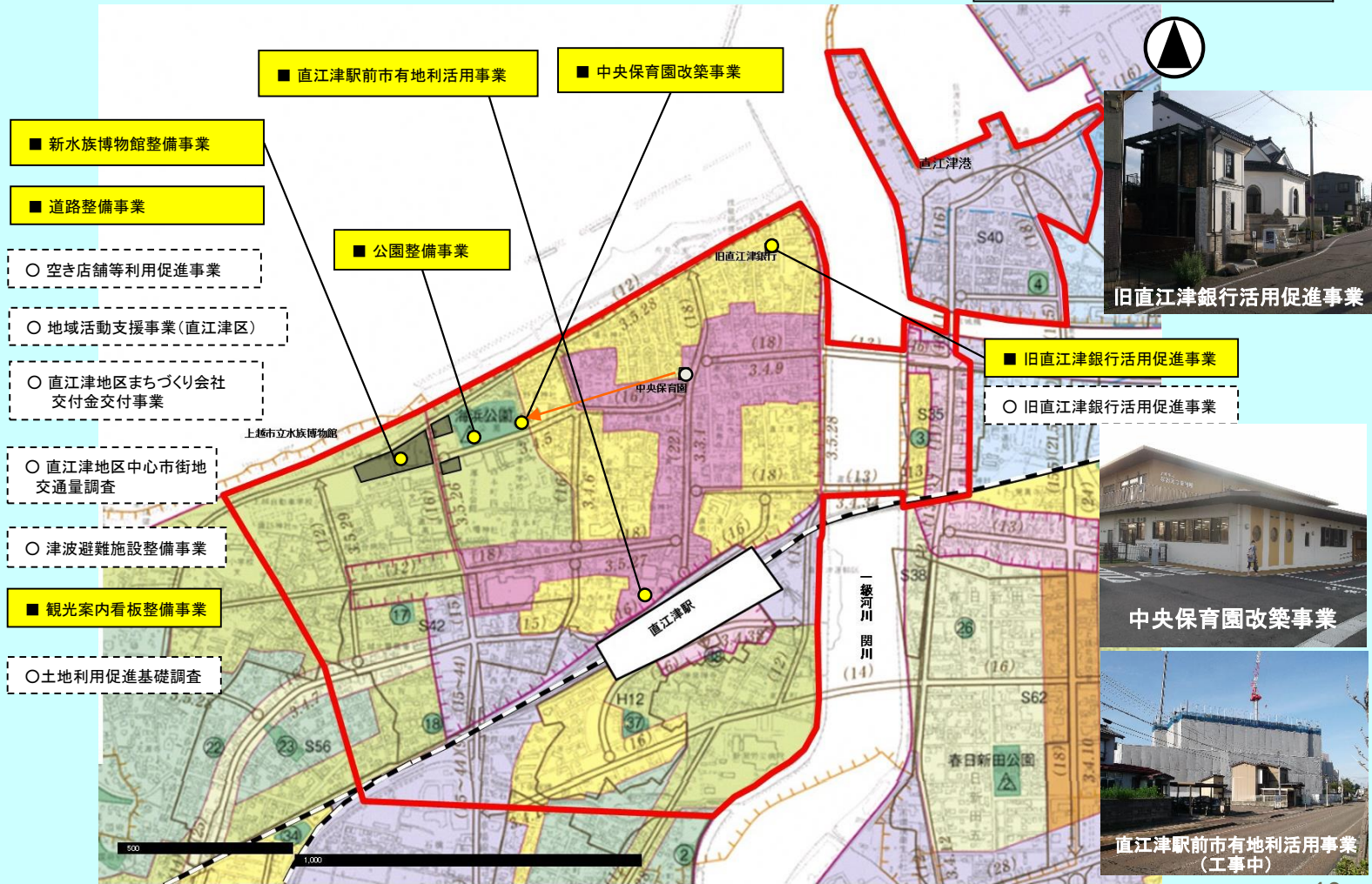
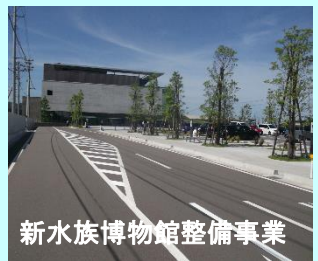
## 2-(1) まちづくりの目標

- 北陸新幹線開業の効果と地域特性を生かした港と鉄道のまち“直江津”の賑わいの再生
- 北陸新幹線開業の効果を生かす既存拠点施設のリニューアルや地域資源の活用などによる交流人口の拡大
- 既存公共施設の整備・改善や民間事業の誘導などによる居住人口の増加

# 2-(2) 計画の概要

地区名	直江津地区	面積	218ha	計画期間	平成26～30年度	交付期間	平成26～30年度
交付対象事業費	4,075百万円	交付額	2,036百万円				

凡 例	
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	■ 基幹事業
<span style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	○ 効果促進事業
<span style="border-bottom: 2px solid red; display: inline-block; width: 20px;"></span>	— 計画区域



■ 新水族博物館整備事業

■ 道路整備事業

○ 空き店舗等利用促進事業

○ 地域活動支援事業(直江津区)

○ 直江津地区まちづくり会社  
交付金交付事業

○ 直江津地区中心市街地  
交通量調査

○ 津波避難施設整備事業

■ 観光案内看板整備事業

○ 土地利用促進基礎調査

■ 直江津駅前市有地利活用事業

■ 中央保育園改築事業

■ 公園整備事業

■ 旧直江津銀行活用促進事業

○ 旧直江津銀行活用促進事業

### 3 直江津地区の事業概要



# 3-(1) 基幹事業(都市再生整備計画)

## ■旧直江津銀行活用促進事業

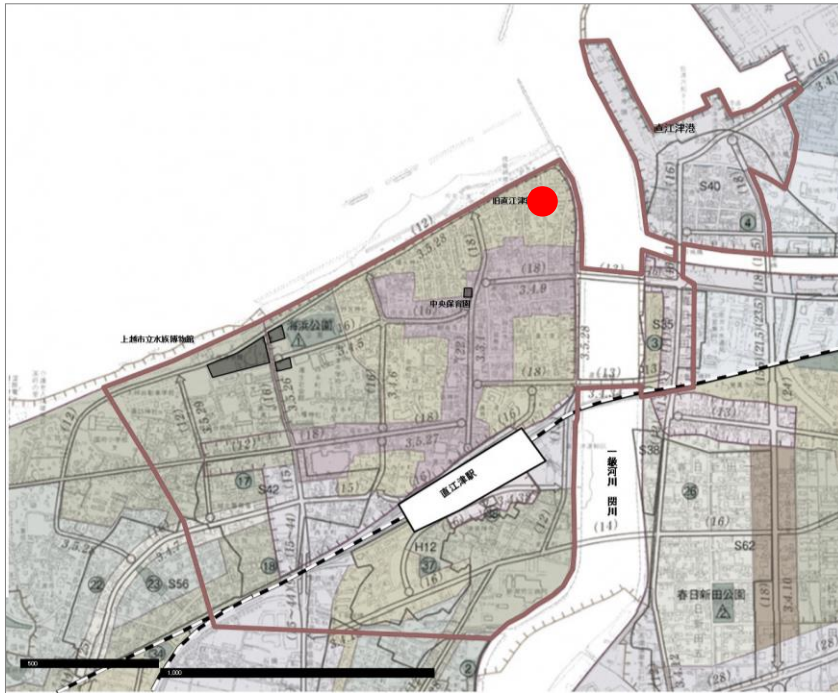
事業費：101百万円

- ・耐震補強、外壁工事（タイル→漆喰）
- ・台所の設置 など

## 整備前



## 整備後

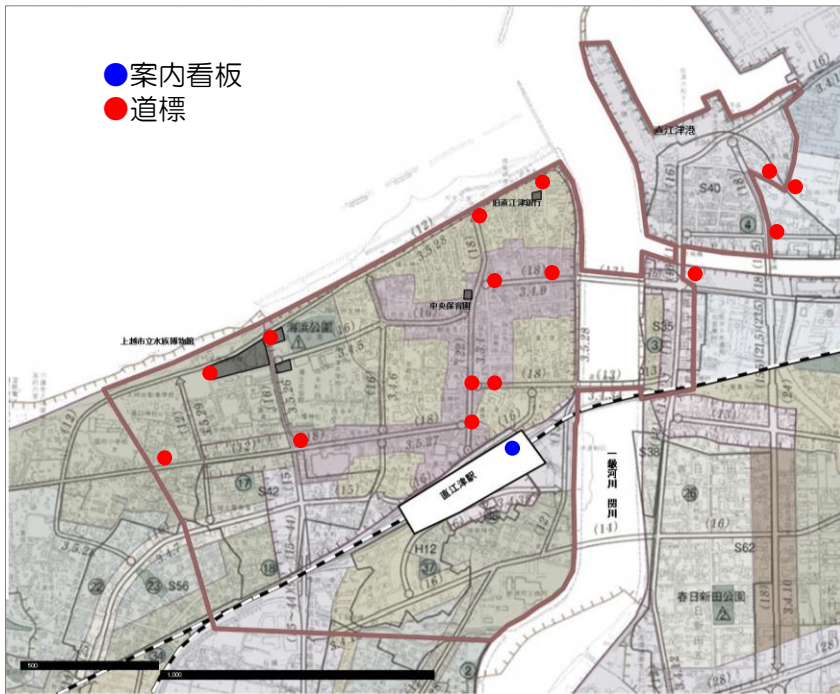


# 3-(1) 基幹事業(都市再生整備計画)

## ■観光案内看板整備事業

事業費：1.9百万円

- ・案内看板（1基）
- ・道標（15基） など



## 整備後



●道標



●案内看板

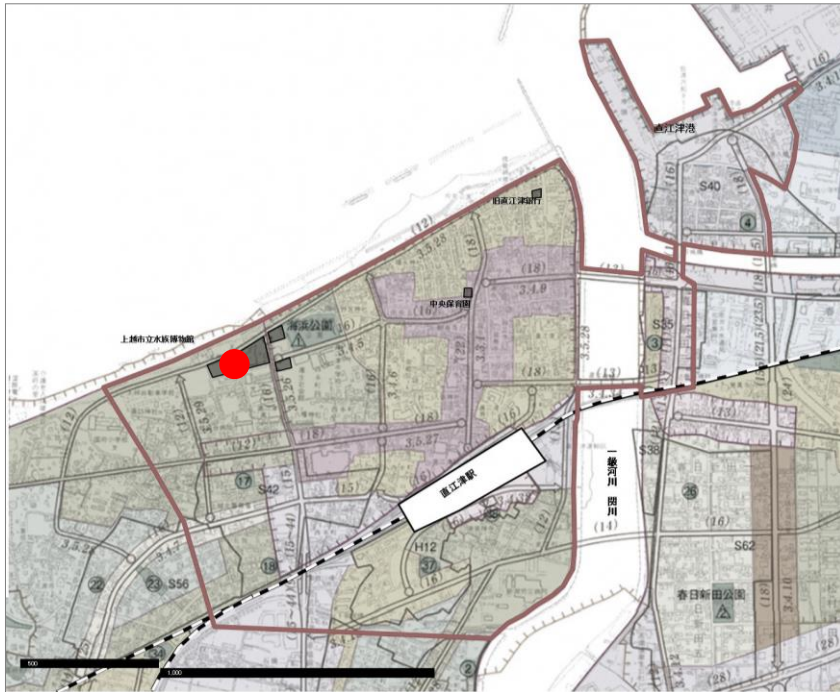
# 3-(1) 基幹事業(都市再生整備計画)

## ■新水族博物館整備事業

総事業費：約11,300百万円

交付対象事業費：2,100百万円

- 水族博物館をリニューアル
- 駐車場整備 など



## 整備前



## 整備後



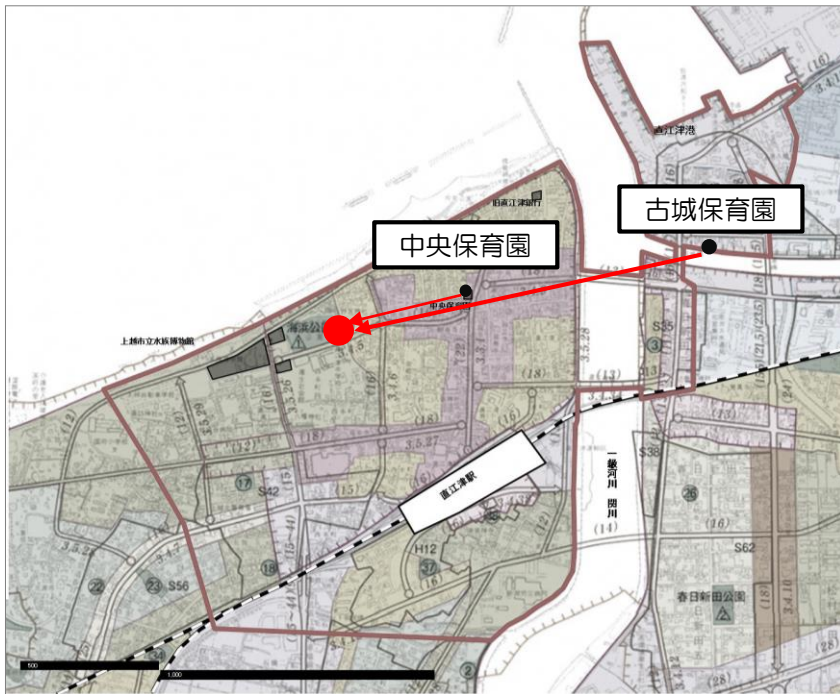


# 3-(1) 基幹事業(都市再生整備計画)

## ■中央保育園改築事業

事業費：959百万円

- 中央保育園移転・新築（古城保育園との統合）
- 駐車場整備 など



## 整備前



## 整備後

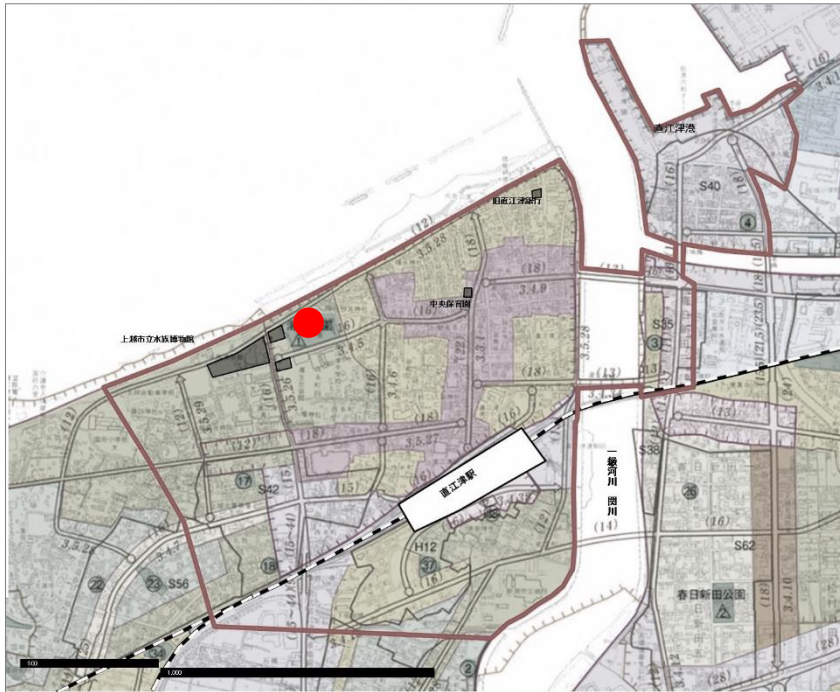


# 3-(1) 基幹事業(都市再生整備計画)

## ■海浜公園整備事業

事業費：128百万円

- ・複合遊具1基設置
- ・東屋1棟設置
- ・噴水、トイレ築造、外周フェンス設置
- ・芝生広場整備 など



## 整備前



## 整備後



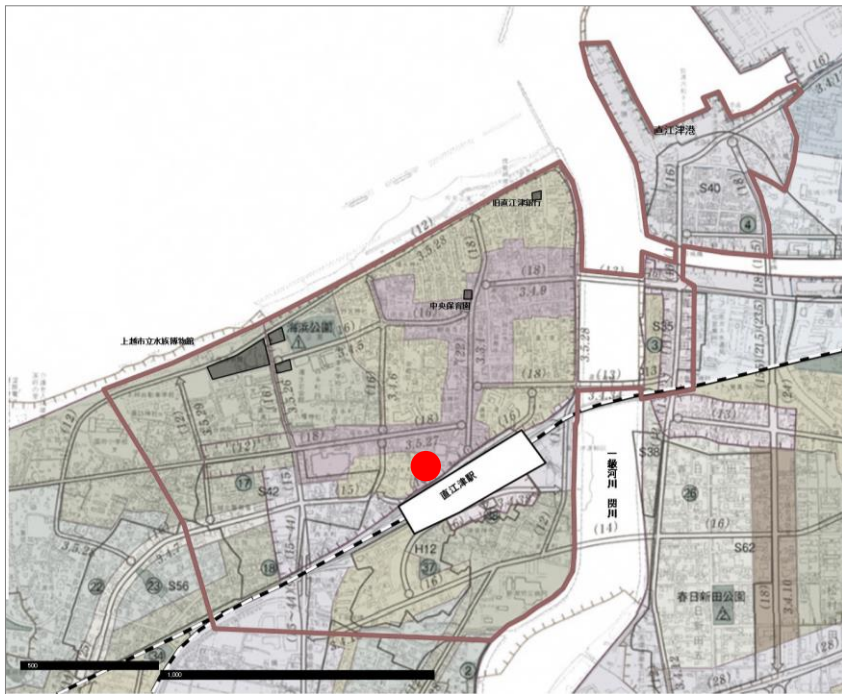


# 3-(1) 基幹事業(都市再生整備計画)

## ■直江津駅前市有地利活用事業

事業費：569百万円

- 複合ビル建設  
    (1～2階 テナント  
      3～10階 マンション)  
    ※運転免許センター入居予定
- 立体駐車場(208台) など



## 整備前

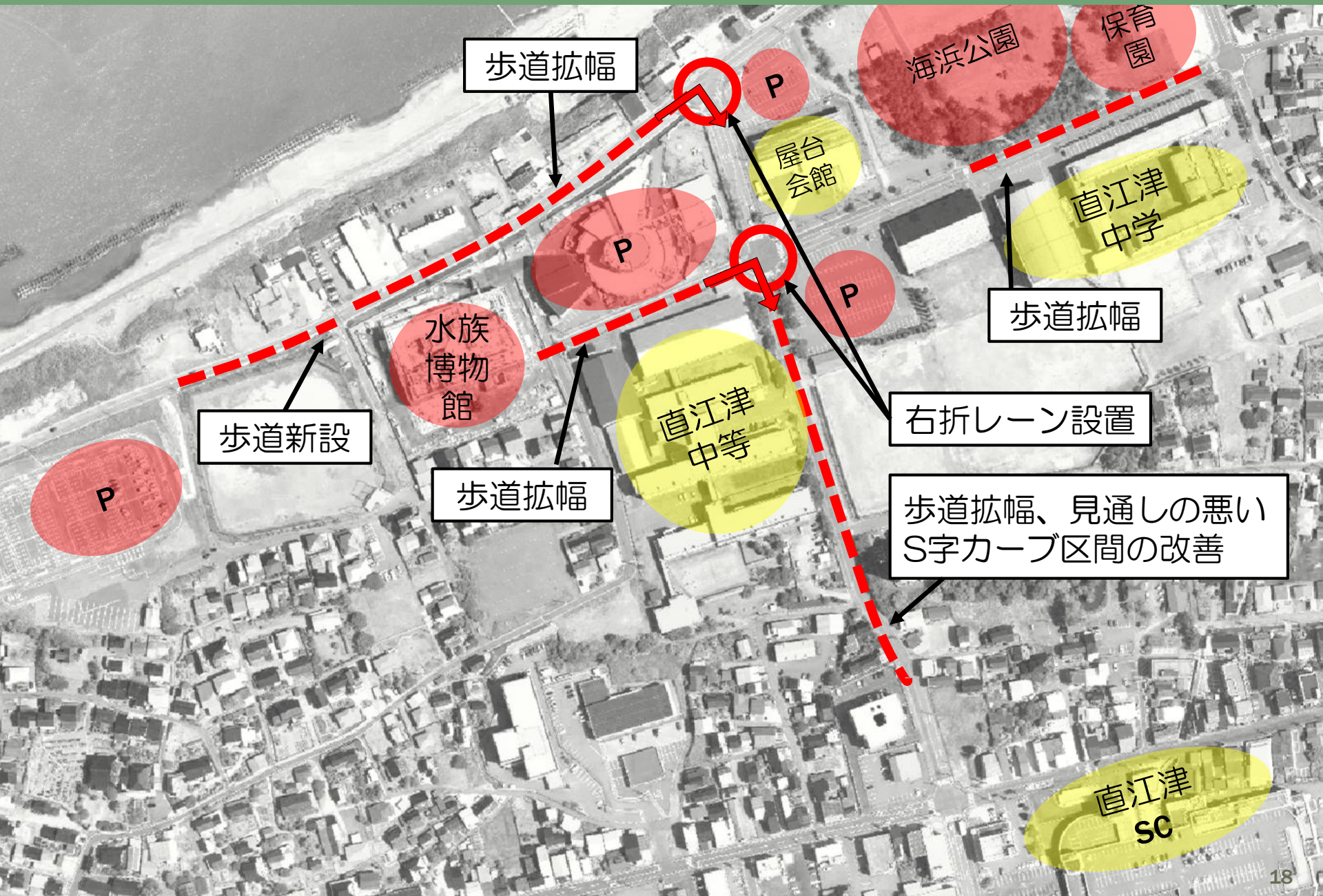


## 整備後 (完成イメージ)





# 3-(1) 基幹事業(道路整備事業 道路整備状況図)



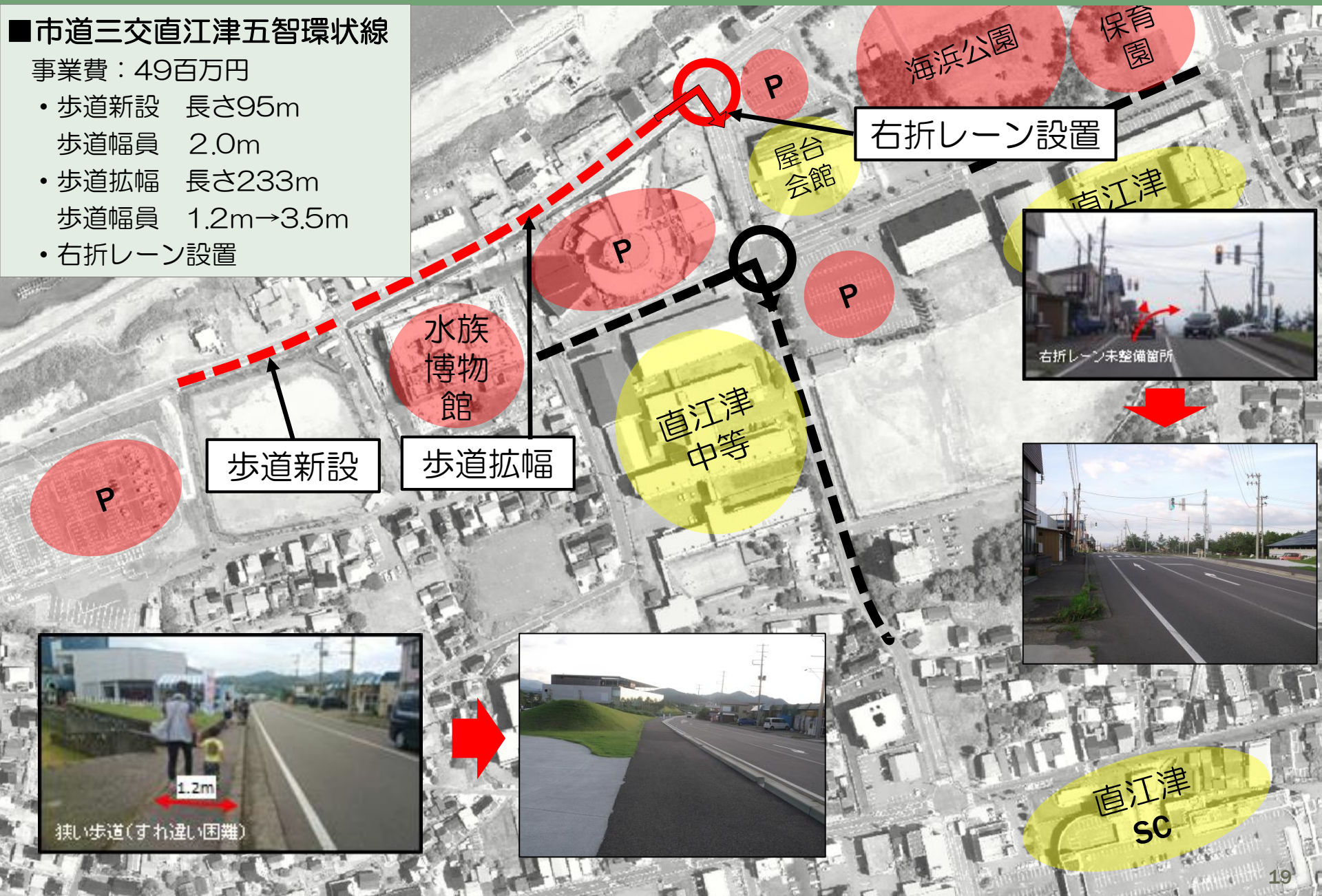


# 3-(1) 基幹事業(道路整備事業 市道三交直江津五智環状線)

## 市道三交直江津五智環状線

事業費：49百万円

- ・歩道新設 長さ95m
- 歩道幅員 2.0m
- ・歩道拡幅 長さ233m
- 歩道幅員 1.2m→3.5m
- ・右折レーン設置



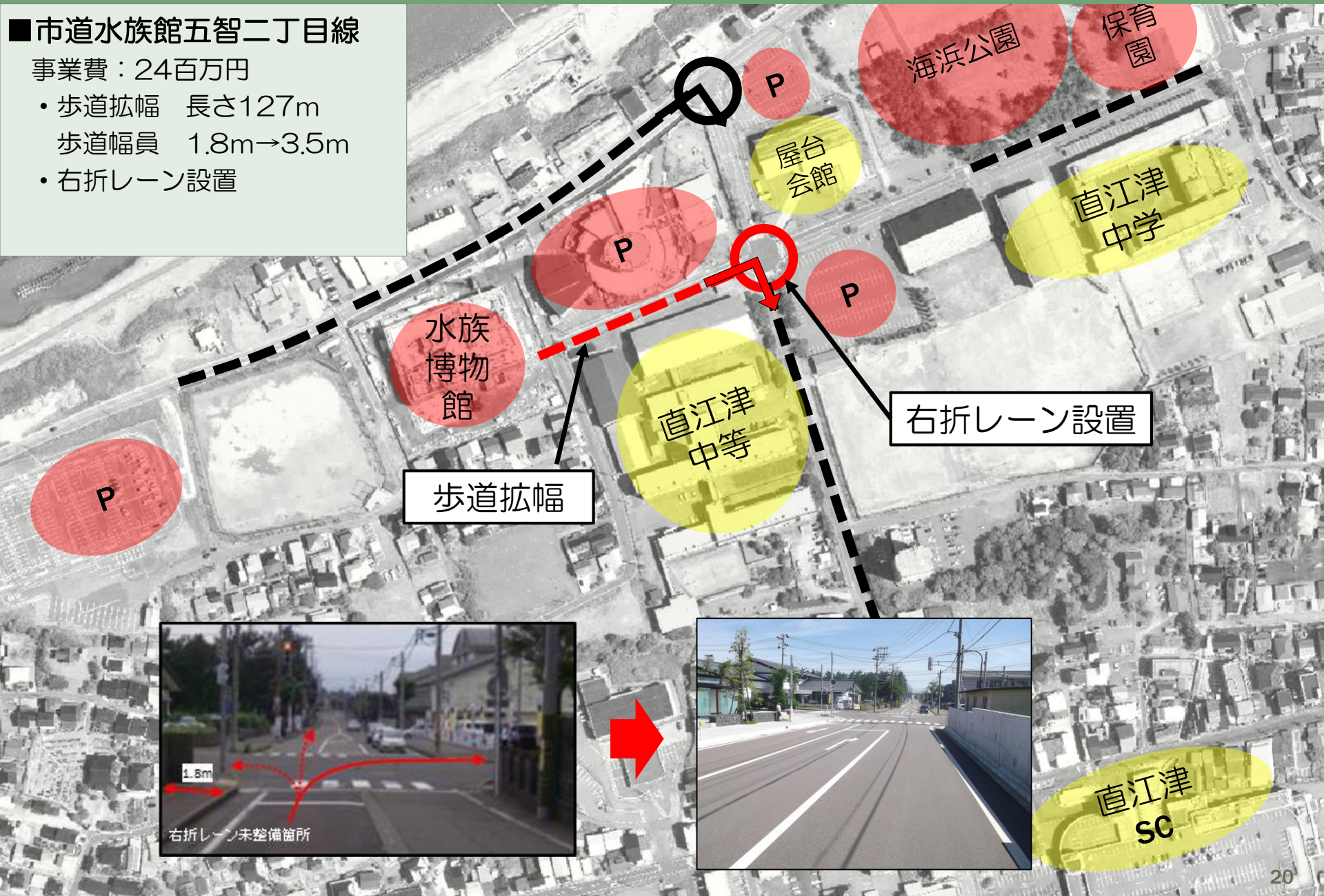


# 3-(1) 基幹事業(道路整備事業 市道水族館五智二丁目線)

## 市道水族館五智二丁目線

事業費：24百万円

- ・歩道拡幅 長さ127m
- 歩道幅員 1.8m→3.5m
- ・右折レーン設置



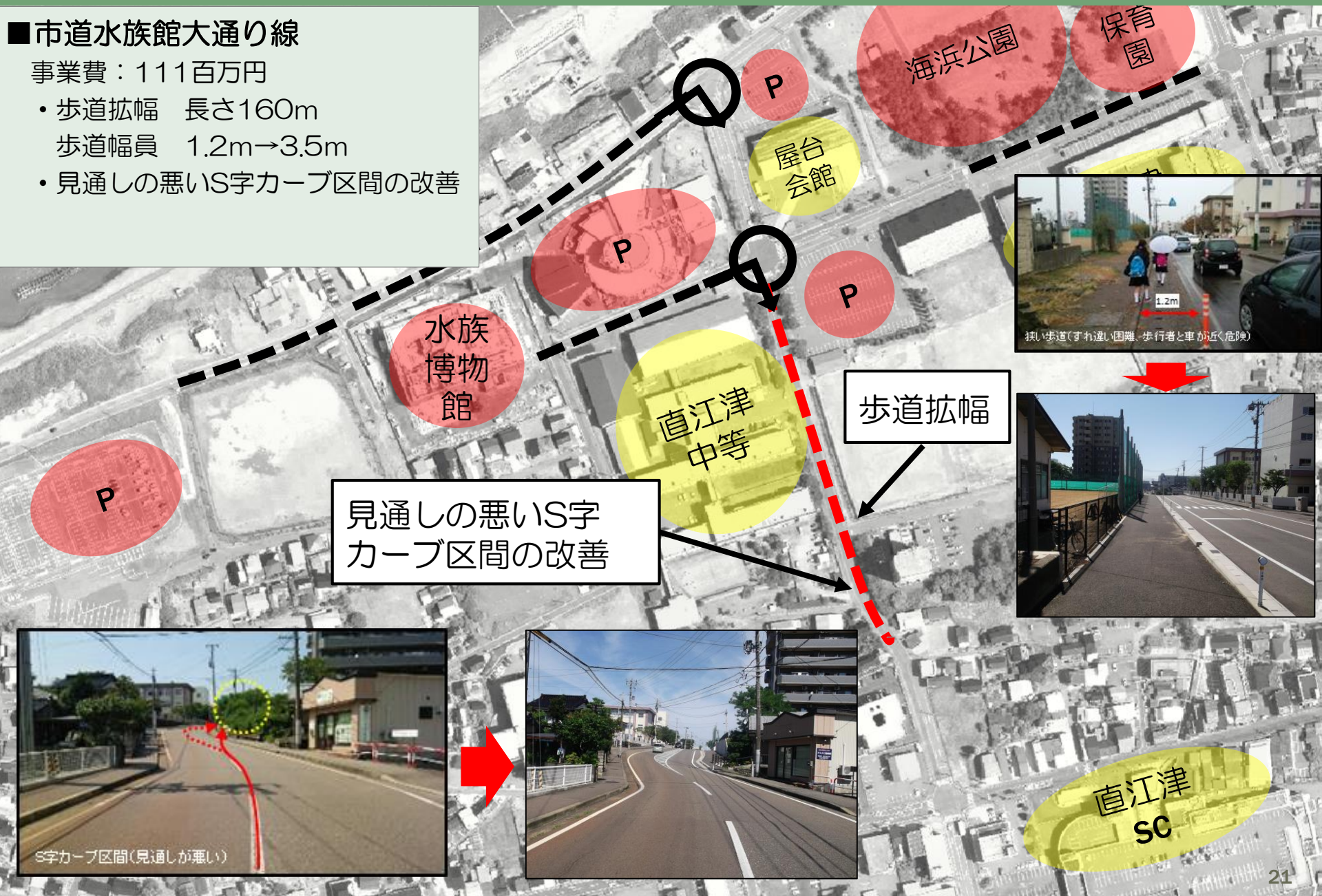


# 3-(1) 基幹事業(道路整備事業 市道水族館大通り線)

## ■市道水族館大通り線

事業費：111百万円

- ・歩道拡幅 長さ160m
- 歩道幅員 1.2m→3.5m
- ・見通しの悪いS字カーブ区間の改善





# 3-(1) 基幹事業(道路整備事業 市道中央線)

## ■市道中央線

事業費：32百万円

- ・歩道拡幅 長さ200m
- 歩道幅員 1.4m→3.0m



# 3- (2) 関連事業(効果促進事業:社会資本総合整備計画)

## ■旧直江津銀行活用促進事業

事業費：0.7百万円

- 建物公開の実施
- 施設活用促進イベントの実施 など



定期公開の様子

## ■直江津地区まちづくり会社交付金交付事業

事業費：4.0百万円

新水族博物館を核とした地域活性化事業への支援

- まちなか水族館事業
- 新水族博物館開業時イベント
- 街なかの特典プラン事業
- 直江津マッププロジェクト など



直江津駅自由通路に水槽を設置

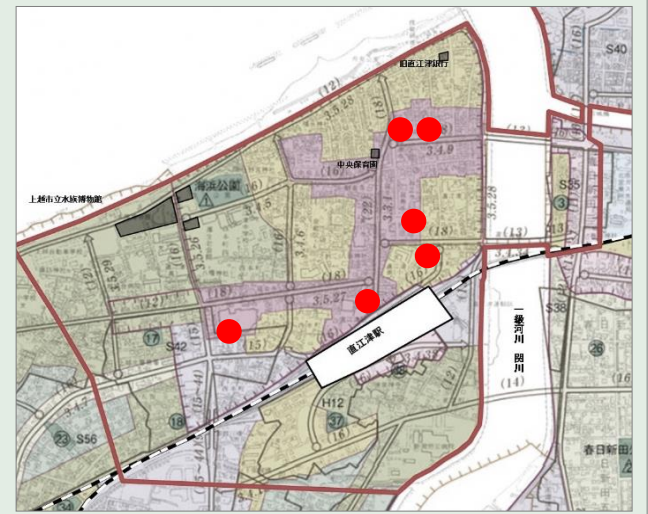


# 3-(2) 関連事業(効果促進事業:社会資本総合整備計画)

## ■空き店舗等利用促進事業

事業費：4.7百万円

- ・6店舗が利用
- ・空き店舗に出店する際の改装費補助 など



## ■直江津地区中心市街地交通量調査

事業費：1.4百万円

- ・H27、H30（平日1日、休日1日、5月～7月）
- ・歩行者、自転車、バイク、自動車の交通量





# 3-(2) 関連事業(効果促進事業:社会資本総合整備計画)

## ■地域活動支援事業(直江津区)

事業費:3.7百万円

- ・アート修景整備事業
- ・まちあるきガイドマップ改定増刷事業 など



まちあるきガイドマップ



壁面作成作業

## ■津波避難施設整備事業

事業費:2.0百万円

- ・既存施設の検証
- ・新たな施設の必要性の調査
- ・住民ワークショップの開催 など

## ■土地利用促進基礎調査

事業費:4.5百万円

- ・空き地、駐車場、空き家  
道路状況などの基礎調査

# 4 審議事項

# 4-(1) 数値目標の達成状況と効果発現要因

事後評価シート(原案)  
P1参照

指標	従前値	目標値(H30)	評価値(H30)	達成度
指標 1 中心市街地 歩行者数	2,889人/日	4,050人/日	2,189人/日	△
指標 2 水族博物館 入館者数	182,186人/年	487,500人/年	899,602人/年	○
指標 3 若年人口 (65歳未満)	6,912人/年	6,950人/年	6,319人/年	△

当初設定した指標以外に、効果の発現状況を補完する指標を追加

指標	従前値	効果	評価値(H30)
追加指標 1 屋台会館利用者数	2,180人/年	約11倍↗	23,798人/年
追加指標 2 休日の自動車交通量	19,393台/日	約1割↗	21,735台/日

# 4-(1)-① 数値目標の達成状況と 効果発現要因

## 指標2

## 上越市立水族博物館入館者数

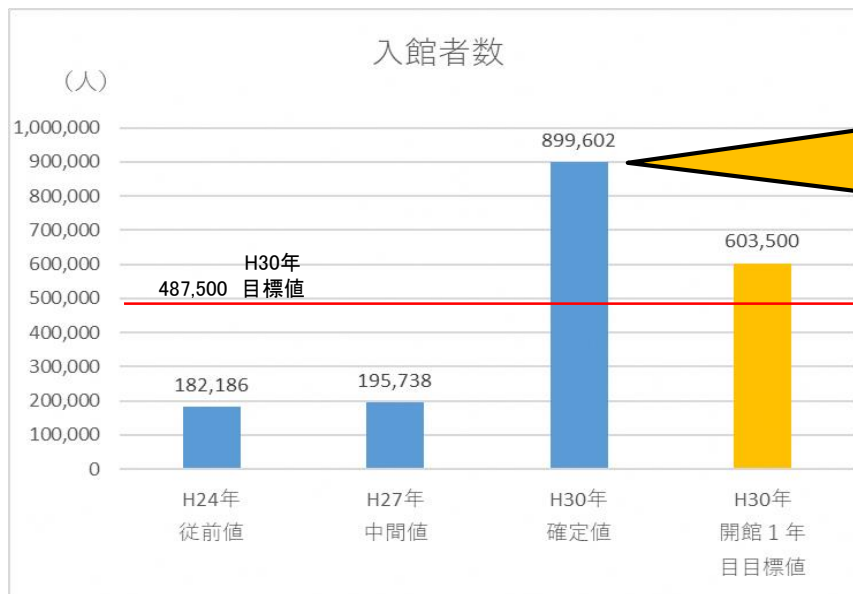
### 目標値

従前値(H24)	目標値(H30)	確定値(H30)	評価結果
182,186人/年	487,500人/年	899,602人/年	達成

### 総評

- 水族博物館は、設計の段階から完成後に管理・運営を行う民間事業者の意見を取り入れたことで魅力ある施設になり、民間の知見を生かした効果的なPRにより目標を上回った。
- なお、計画時は評価時に開館2年目となる予定であったため、目標値も2年目を想定した値であり、実績値が大きく上回った。開館1年目とした場合の水族博物館の目標値は、603,500人/年であるが、それと比較しても、目標値を上回っている。

### ●直江津地区 上越市立水族博物館入館者数



### 評価データ

# 4-(1)-① 数値目標の達成状況と 効果発現要因

## その他指標1

## 屋台会館の利用者数

### 目標値

従前値(H25)

目標値(H30)

評価値(H30)

評価結果

2,180人/年

-

23,798人/年

-

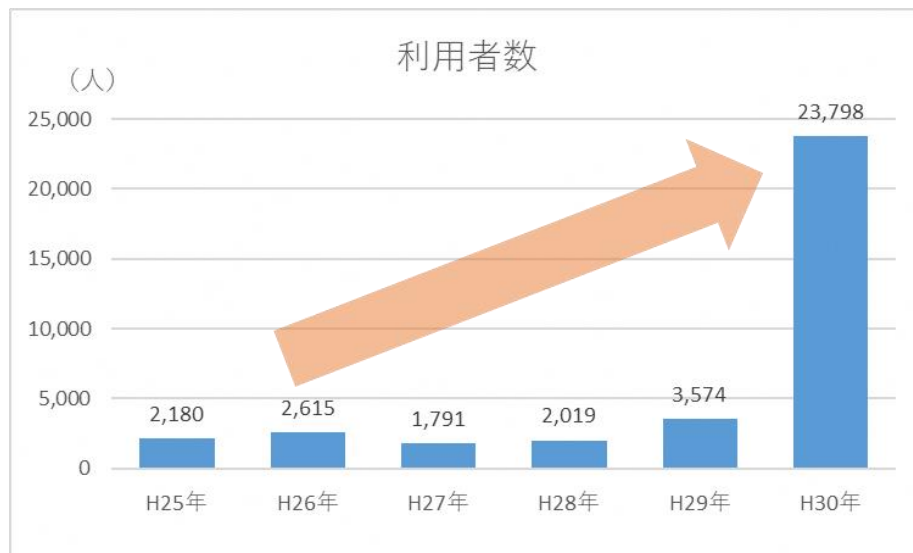
本指標を取り上げる理由

・水族博物館への来訪者が周辺施設の利用につながっていることを測る指標とする。

・隣接する水族博物館を訪れる団体観光客や、保育園・幼稚園・小学校による水族博物館来館後の休憩場所としての利用が増加している。また、近隣に休憩できる場所があることが、水族博物館の利用者増につながっている。

### 総評

#### ●屋台会館利用者数



水族博物館  
来館者による  
利用者増

近隣施設で休憩できる



水族博物館利用者増

### 評価 データ

# 4-(1)-② 数値目標の達成状況と効果発現要因

## 指標1

## 中心市街地歩行者数

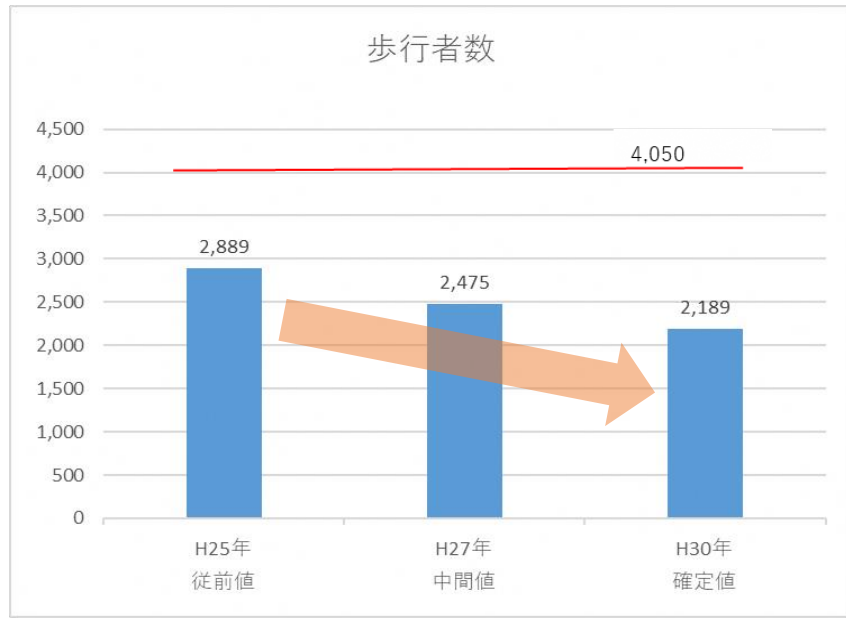
### 目標値

従前値(H25)	目標値(H30)	確定値(H30)	評価結果
2,889人/日	4,050人/日	2,189人/日	未達成

### 総評

- 水族博物館のリニューアルにより来訪者が増加、市街地の飲食店にも行列ができるなど賑わっているが、来訪者の約85%が車で移動し、歩行者の増加につながらっていない。
- 駅前マンション等複合施設に当初計画にない運転免許センターの誘致に成功。令和2年度後はマンション居住者に加え、運転免許センター利用者の来訪が見込まれる。
- 歩行者数は中心市街地の賑わいを図る指標として好ましくない。

### 評価データ



歩行者は減少しているが、自動車は増加 ↗



# 4-(1)-② 数値目標の達成状況と効果発現要因

## その他指標2

## 中心市街地における休日の自動車交通量

### 目標値

従前値(H25)

目標値(H30)

評価値(H30)

評価結果

19,393台/日

-

21,735台/日

-

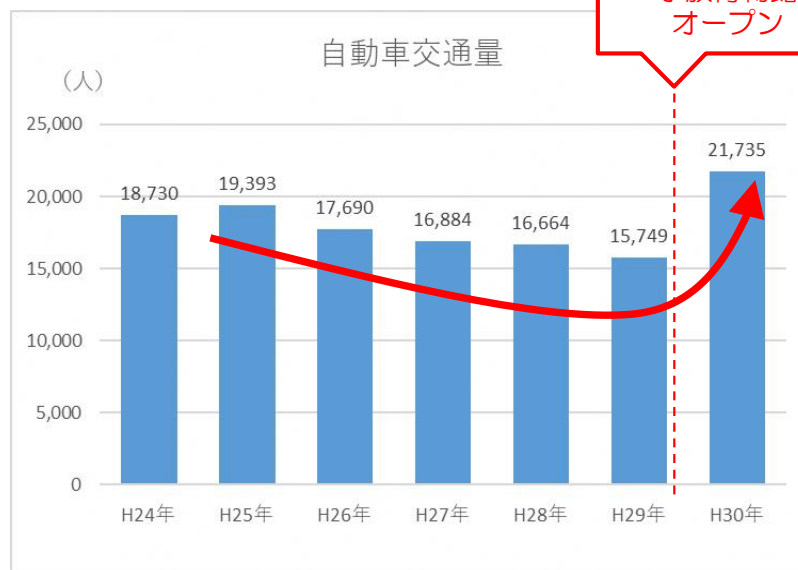
本指標を取り上げる理由

・水族博物館への来訪者増が、まちなかへの来訪者増につながっていることを測る指標とする。

### 総評

・中心市街地歩行者数と同様の5地点における休日の自動車交通量を事業開始前と比較した結果、約1割増加している。個別の地点では、国道8号から水族博物館へ向かう（第四銀行直江津西支店前、旧検察庁跡地前）と、その道路からまちなかの飲食店の多い通り（安国寺通り府中八幡宮付近）への交通量が増加していることから、水族博物館への来訪者増が、まちなかへの来訪者増につながっている。

### ●自動車交通量



19,393台/日 (H25)  
→21,735台/日 (H30)



減少傾向から増加に転換

### 評価データ

# 4-(1)-③ 数値目標の達成状況と効果発現要因

事後評価シート(原案)  
P1参照

## 指標3

## 直江津地区計画区域に居住する若年人口

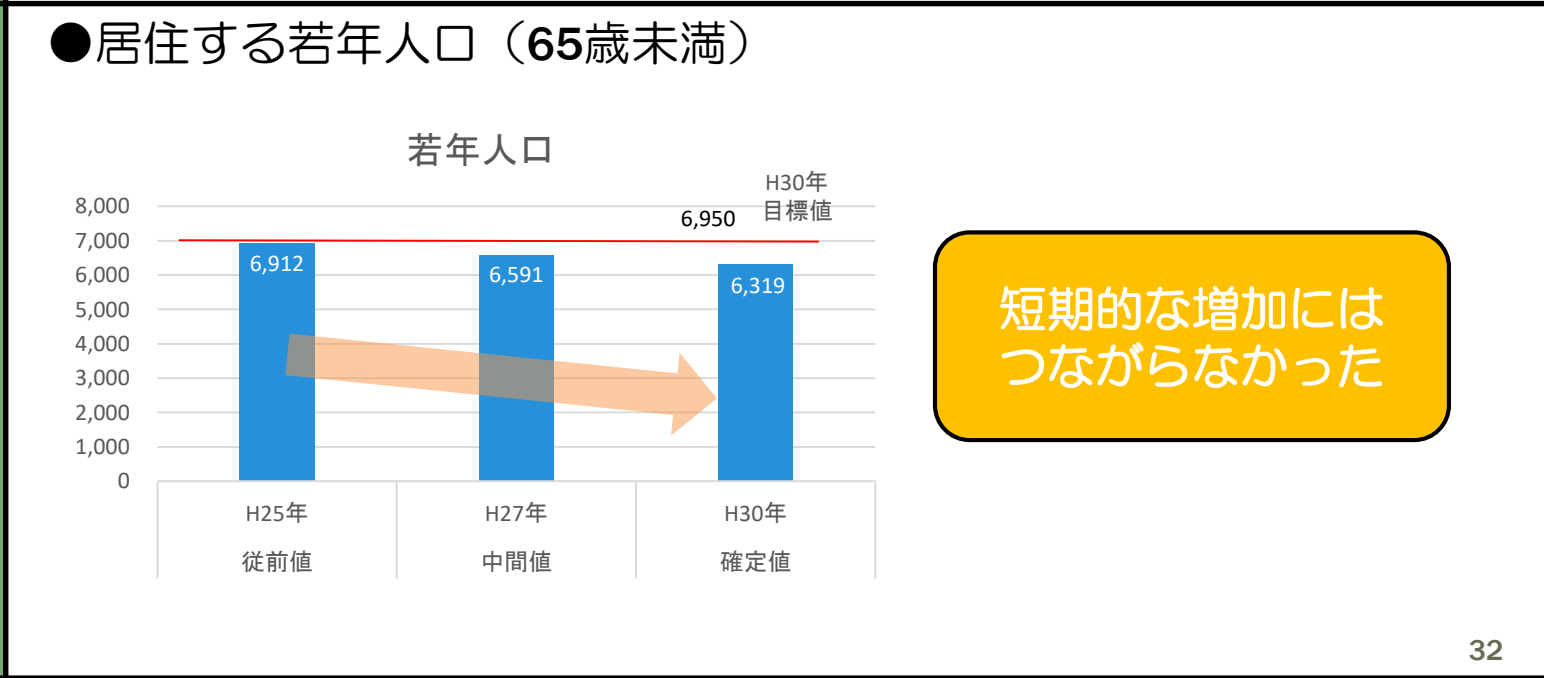
### 目標値

従前値(H25)	目標値(H30)	確定値(H30)	評価結果
6,912人/年	6,950人/年	6,319人/年	未達成

### 総評

- ・海浜公園が隣接する新しい保育園を建設することで、子育て世代の居住地域としての魅力が高まり、開園以降、通園する園児が1割ほど増加しているが、短期的には若年人口増の効果は得られなかった。
- ・なお、直江津駅前市有地利活用事業によるマンション等複合施設において、すでに入居の申し込みがあり、令和2年度のオープン後において若年人口の増加が見込まれる。

### 評価データ





# 4-(2) 実施過程の評価

## モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	-	-	-

## 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	-	-	-

## 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i.体制構築に向けた取組内容	ii.まちづくり組織名：組織の概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新水族博物館を核とした地域活性化検討会による地域活性化に資する活動</li> </ul>	<p>予定どおり実施した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元商店、まちづくり団体等が中心となって<u>新しい団体</u>（新水族博物館を核とした地域活性化検討会）を立ち上げた。</li> <li>検討会により、まちなかの店舗で利用できるクーポン付パンフレットの発行や、大学生と連携してお店や観光名所のマップ作成を行うなど、<u>地域住民自ら地域を盛り上げるための活動を行った。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新水族博物館を核とした地域活性化検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域を盛り上げる民間活動への支援を継続していく。</li> </ul>

# 4-(3)-① まちの課題の変化①

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと (課題の改善状況)	残された未解決の 課題
<p>①居住人口の減少と高齢化の抑制</p> <p>②民間による宅地開発・住宅供給の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直江津地区において、火力発電所の新設や精密機器の工場などの新たな民間活動が行われることにより、<u>社員寮が建築され、生産年齢人口が増加した。</u></li> <li>直江津駅前の遊休土地を市が購入し、民間事業を誘導することで、<u>民間事業者の提案によるマンション等複合施設の開発が行われている。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央保育園の移転・改築や海浜公園の整備により、子育て世帯の居住地選択における魅力を高めるとともに、水族博物館のリニューアルにより、新たなビジネスチャンスを創出することで、<u>まちなか居住の推進を図ったが、短期的には効果が現れていない。</u></li> <li><u>新たな民間開発が進んでいない。</u></li> <li><u>マンション等複合施設が完成していない。</u></li> </ul>
<p>③街中にある既存都市施設の郊外移転の抑制と施設の改善・機能強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水族博物館が郊外に移転せず、<u>市街地でリニューアルされ、入館者数も大幅に増加した。</u></li> <li>中央保育園の移転・改築により、市街地のより中心近くに<u>公園に面した魅力的な保育園が整備された。</u></li> <li>地域外からマンション等複合施設に<u>運転免許センターが移転・開設されることになった。</u></li> </ul>	<p>-</p>

## 4-(3)-① まちの課題の変化②

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと (課題の改善状況)	残された未解決の 課題
④北陸新幹線開業を見据え た交流拠点としての機能 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>水族館博物館のリニューアルにより、来訪者は以前より増加、広範囲化した。</li> </ul>	-
⑤回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>水族博物館への来訪者が、まちなかの飲食店や屋台会館、五智公園などに訪れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水族博物館への来訪者は大幅に増加したが、その回遊による波及効果は一部店舗に留まるなど、<u>想定していた賑わいには至っていない。</u></li> </ul>

## 事業によって発生した新たな課題

- マンション等複合施設内に、当初計画になかった運転免許センターの誘致に成功した。これにより、新たに見込まれる年間約4万人の来訪者をまちなかへの回遊につなげる必要がある。
- 保育園の移転・改築による中央保育園と古城保育園の跡地の利用方法が未決定であることから、速やかに活用を図っていく必要がある。
- 水族博物館への来訪者に消費を促すため、水族博物館周辺での移動販売等の商業活動を強化する必要がある。
- 水族博物館への来訪者が増えている屋台会館の相乗効果の生まれる新たな活用方法を検討する必要がある。

# 4-(3)-② 効果を持続させるために行う方策

## ■効果を持続させるために行う方策

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
水族博物館入館者数の目標達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、来訪者のニーズをとらえた運営と情報発信により、<u>今後も想定する入館者数を達成する。</u></li> <li><u>水族博物館と地域が一体となって水族博物館を盛り上げる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水族博物館のリニューアル事業(5年ごと)</li> <li>リニューアル費用の積み立て</li> <li>水族博物館の活性化に資する民間活動への支援</li> </ul>
まちなかへの誘客	<ul style="list-style-type: none"> <li>行列のできる店の魅力を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗魅力アップ、PR事業</li> </ul>
水族博物館への来訪者の屋台会館利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>水族博物館からの来訪者が訪れていることを好機と捉え、<u>相乗効果の生まれる新たな活用方法を検討する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋台会館の活用事業</li> </ul>

## 4-(3)-③ 改善策

## ■改善策

改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
まちなかへの回遊促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まちなかの個店の<u>魅力を高め、効果的な情報発信を行う。</u></li> <li>• <u>運転免許センターの来訪者をまちなかへ誘導する。</u></li> <li>• <u>ライオン像のある館を活用する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 店舗魅力アップ、PR事業</li> <li>• 情報発信検討事業</li> <li>• 住民や商店主によるまちなかイベント</li> <li>• 水族博物館、運転免許センターと商店との連携強化事業</li> <li>• ライオン像のある館の活用事業</li> </ul>
若年層・子育て世帯のまちなか居住誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育園の改築や公園の整備により、子育て世帯に対する魅力を高め、まちなか居住誘導を図ったが、<u>短期的には効果が得られなかったことから、新たな施策の検討を行う。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まちなか居住推進事業</li> </ul>
民間による住居の開発促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 直江津地区において、近年増加している<u>社員寮等をまちなかへ誘致、誘導する。</u></li> <li>• 直江津の特徴をいかした新たな開発計画を立ち上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小規模区画整理事業</li> <li>• 優良建築物等整備事業</li> </ul>
中央保育園と古城保育園の跡地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>まちづくりに資する土地活用を早期に検討する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 跡地活用の検討</li> </ul>

# 4-(4) フォローアップ計画

指標		従前値	年度	目標値	年度	評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
										予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	中心市街地歩行者数	人/日	2,889	H25	4,050	H30	確定 ●	2,189	△	あり	→	令和3年度	5地点(第四銀行直江津西支店前、安国寺通り府中八幡宮付近、直江津駅前通り、直江津郵便局前、旧検察庁跡地前)における歩行者数を測定する。	
							見込み			なし ●				
指標2	上越市立水族博物館入館者数	人/年	182,186	H24	487,500	H30	確定 ●	899,602	○	あり	→			
							見込み			なし				
指標3	直江津地区計画区域に居住する若年人口(65歳未満)	人/年	6,912	H25	6,950	H30	確定 ●	6,319	△	あり	→	令和3年度	直江津地区計画区域に居住する若年人口(65歳未満)を住民基本台帳に基づき調査する。	
							見込み			なし ●				
その他の数値指標1	屋台会館の利用者数	人/年	2,180	H25			確定 ●	23,798			→			
その他の数値指標2	中心市街地における休日の自動車交通量	台/日	19,393	H25			確定 ●	21,735			→			
							見込み							

# 4-(5) 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

事後評価シート(原案)  
P15参照

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・水族博物館の入館者数は、設計の段階から完成後に管理・運営を行う民間事業者を指定して意見を取り入れることにより、その後の管理・運営を見据えた整備を行い、魅力あふれる施設にするとともに、民間の知見をいかし効果的にPRを行ったことにより、目標値を上回ることができた。	・誘客施設については、設計の段階からその後の管理・運営を行う民間事業者などの意見を取り入れる。
	うまく いかなかった点	・まちの賑わいを測る指標として歩行者数を用いたが、地方都市においては車でまちなかに移動し、店舗近くの駐車場を利用することなどから、各店舗の来客が多くなっていても歩行者数が街の実態に反映されないと想定される。このことから、当計画では休日の自動車交通量を追加指標とした。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	・店舗の売上額、駐車場の駐車台数、滞在人口など実態を表す指標設定が好ましい。 ・効果が短期に発現しないような指標については、無理に目標設定を行わない。
	うまく いかなかった点	・居住人口の増加については短期的には効果が発現しにくいことから、別の指標を検討すべきであった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	

# 4-(6) 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和2年2月3日(月)～ 令和2年2月17日(月)	同左	企画政策課への郵送、 FAX、電子メール及び企画政 策課窓口での意見書の提出	企画政策部企画政策課
広報掲載・回覧・個別配布	市の広報に、住民公表を実施する旨を掲載	広報上越2月1日号	—		
説明会・ワークショップ	—		—		
その他	企画政策課窓口で閲覧	令和2年2月3日(月)～ 令和2年2月17日(月)	同左		
住民の意見	なし				